

# 地域ぐるみで子どもの安全を守りましょう 保護者の方へ

## 教えてあげてください。自分の身は自分で守ること

### 出かけるときは必ず行き先を告げる

子どもが出かけるときは、必ず「どこへ、誰と、何しに。何時に帰るか。」を告げるように指導してください。誰も家に居ないときは、掲示板などに書いておくよう指導しましょう。何も言わないで、出かけようとするときは、必ず行く先を聞いてください。

もし、遅くなったら、必ず連絡させ、家の人を迎えに行くようにしましょう。



### 一人で遊ばないこと

子どもが一人にいるとき、犯罪被害にあう可能性が高くなります。

できる限り一人で遊ぶことがないように指導してください。



### 怖いと感じたら大声を出して逃げる

不審者に声をかけられた、知らない人に連れていかれそうになった、など子どもが怖いと思ったときは、大声を出して助けを求め、走ってその場から逃げることを教えてください。

また、万一の場合に備えて、子どもが「助けて」と大声が出せるように練習をしておくことも必要です。



### 子どもとのコミュニケーションを大切にする

怖いことにあったとき、いつでも、子どもが会話できるよう、日ごろから親子のコミュニケーションを大切にしてください。

怖いことがあったときは、必ず家の人に話をしてくれるように指導してください。



### 「子どもを守る 安心の家」の確認

子どもが危険を感じたとき、駆け込める場所が「安心の家」です。近所や通学路の「安心の家」を子どもと一緒に確認してください。また、どのようにして助けを求めるのか教えてあげてください。通学路のコンビニ、ガソリンスタンドなど人が常にいる所の確認もお願いします。



## 危険箇所の確認

通学路や自宅周辺(マンションの通路等を含む。)を子どもと一緒に歩き、見通しがきかななど危険な箇所や犯罪が発生した場所などに近づかないように指導してください。通学路にこうした箇所がある場合は、通学路の変更や、一人では絶対に歩かないよう指導してください。

また、車には近づかないよう指導してください。

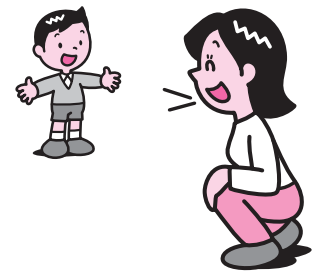


## 保護者の方へ、お願いします。

遅くまで一人でいる子どもを見かけたら、一声かけてください。

遅くまで一人で遊んでいる子どもを見かけたら、一声掛けてあげてください。

その際は、傍によらず少し離れた位置から早く帰よう声を掛けてあげてください。



## 事件や不審者情報は学校や警察に連絡しましょう

事件や不審者情報を迅速に把握し対応していくためにも、子どもから不審者に関する話を聞いたときは、些細なことでも学校や警察へ連絡してください。



## 防犯ベルなど防犯グッズを持たせましょう

子どもに限らず、恐怖に駆られた場合は意外に声が出ないものです。万に備えて子どもに防犯ブザーなどを持たせてください。

また、ただ持たせるだけではなく、子どもに正しい使い方を教え、電池切れや故障をしていないか時々点検をしましょう。

注) 防犯グッズの携帯は防犯の補助的なものです。子どもたちの安全には地域の方の協力が絶対に不可欠です。



## 地域の防犯活動に協力しましょう

子どもの安全は、保護者だけでは守れません。学校・PTA・町内会などが実施する通学路パトロール、あいさつ運動、交通安全運動などの子どもを地域で守る取組みに協力してください。

